

みぞえ画廊

×

「アートを身近に感じられる 猪熊弦一郎オリジナル展示会」 田園調布学園中等部・高等部コラボ

1



2



3



4



5

今回の展示会は、もともと2023年度の中等部2年生の探究の授業の一環で行われた「アートを身近に感じられる展示会を企画しよう」の後に、有志企画として2025年に取り組んだものです。生徒は田園調布ゆかりの作家 猪熊弦一郎の作品の中から気に入ったものを自由に選び、自分なりの解釈でキャプションを作成しました。

また、本校の卒業生有志も参加しています。併せてご覧ください。

これまでの探究授業の取り組みは学園ブログをご覧ください。



2025年10月1日（水）～10月9日（木）

開館時間：10:00～18:00

休廊日 月・火曜日

入場料：無料

03-3722-6570

03-3722-8777(FAX)

1 みぞえ画廊 東京店

2 『作品』

3 『大内の梅林』

4 丸亀市猪熊弦一郎
現代美術館

（MIMOCA）

5 三越の包装紙『華
ひらく』

【略歴】

- 1902年 高松市生まれ。
- 1922年 東京美術学校（現・東京芸術大学）洋画科に入学し、
藤島武二に師事する。のちに同学校を中退。
- 1926年 「婦人像」で帝展初入選。
- 1936年 小磯良平、脇田和らと新制作派協会を設立。
- 1938年 フランスに移り、アンリ・マティスの指導を受ける。
- 1940年 第二次世界大戦が勃発し、
最後の避難船となった白山丸で帰国。
- 1944年 陸軍美術展で戦争画の「〇〇方面鉄道建設」を発表。
終戦後、田園調布純粹美術研究室を発足し、
後進の指導にあたる。
- 1950年 白地に赤で有名な三越の包装紙「華ひらく」の
デザインを行う。
- 1951年 上野駅に壁画「自由」を完成。
慶應義塾大学大生ホールの壁画「デモクラシー」と
名古屋丸栄ホテルホール壁画「愛の誕生」で、
第2回毎日美術賞を受賞。
- 1955年 活動の拠点をニューヨークに移す。
- 1980年 勲三等瑞宝章を受章する。
- 1993年 「祝90祭 猪熊弦一郎展」で第34回毎日芸術賞を受賞。
同年逝去。享年90歳。

段落テキスト



猪熊弦一郎
(いのくまげんいちろう)

【参加生徒からのメッセージ】

この探究の延長プロジェクトを始めるまで、猪熊弦一郎という芸術家の存在を知りませんでした。自分たちで調べて、作品の魅力を伝えられるように、キャプションを工夫することはとても楽しく、お気に入りの作品までできました。

猪熊弦一郎の作品は、一点だけをじっくり見ても楽しめますし、違う年代の絵を並べて、進化し続けた彼の作風を比べるのも面白いと思います。ぜひ、みぞえ画廊様に足をお運びください。

【アクセス】

〒145-0071 東京都
大田区
田園調布3-19-16

■徒歩 6 分
■自転車 2 分

